

## 福祉のまち推進センターとは？

ごみ捨てや玄関前の除雪に困っている。子育てに心配事がある。近所付き合いがなく寂しい。話し相手がほしい。みなさんの地域にこのような悩みや不安を抱えている人はいませんか。

住民同士のちょっとした手助けや見守り活動により、このような悩みや不安を解消し、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいるのが、福祉のまち推進センターです。平成七年度から市と札幌市社会福祉協議会が協力して取り組んでいる「福祉のまち推進事業」を進めるために、地域住民による自主的な福祉活動を行う組織として設置されました。区内には八カ所、地区社会福祉協議会に設置されています。

活動の主な対象は、独り暮らしの高齢者や障がいのある方、子育て中の家庭など。「地域で一人でも多くの友達を作り、いきいきと元気に暮らしてほしい」と、地域のボランティアが中心となり、ふれあい交流行事の開催や相談窓口の開設など、さまざまな活動を行っています。

※福祉のまち推進事業は、少子・高齢化が進む中、住民同士の支え合いによって、誰もが安心して暮らせる地域社会を実現しようという取り組み。

## ○特集

## 福祉のまち推進センター

## みんなが笑顔で

## 暮らせるまことに

誰もが笑顔で暮らせる地域を目指し、隣近所だからこそできる福祉活動に力を入れる「ふくまち」こと、福祉のまち推進センター。今月号では、このふくまちの活動の様子についてご紹介します。



①



②

①12月の東札幌子育てひろば「ぐー・ちょき・ばー」では、地域の方が手品を披露。プロ顔負けの技に子どもも大人も驚きの連続でした

②約80人が参加したさわやか交流会(7月29日、白石東地区)。痲ぼうの予防にと、保健師の指導の下、座りながら気軽にできる体操に挑戦しました